

わたらしい生き方を選択するための「わた生きゼミ」2023 特別企画

ちいともやもや ジェンダー川柳コンテスト

9月14日(木)
募集開始!!

「男は仕事、女は家庭」「女のくせに」「男のくせに」…。
こんな決めつけ、もう終わりにしませんか？

県では、皆さんが日頃抱いている性別役割に関する「もやもや」した思いや違和感を、川柳の形で募集し、広く発信する「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」を実施します。

五・七・五という短い言葉のメッセージを募り、これを多くの方に届けることで、同じ思いを持つ方の共感を得るとともに、それが思い込みや決めつけだと気づいていなかった方々の気づきにつなげ、「男だから～すべき」「女だから～すべき」といった、性別による固定観念の解消の機運を広げていくことを、ここ広島から目指します！



背景

今年度、広島ではG7サミットが開催され、ジェンダー平等の実現に向け一層の努力をしていくことが首脳宣言に明記されましたが、日本のジェンダー格差(*参考1)は、サミット参加国の中では最下位です。また、本県の状況も、全国的な比較において、ジェンダー平等が進んでいるとは言えない分野などもあります。(*参考2) 男女の地位の平等感も、「平等」と感じている人に男女で差があるほか、7割弱の人が男性の方が優遇されていると考えています。(*参考3)

こうした状況の背景には、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」(*参考4)に代表される、「男だから～、女だから～」という固定的な性別役割分担意識が存在していると考えられており、県では、令和3年度から、こうした固定観念の解消に向けた取組を強化しています。

コンテスト概要

- (1) **募集内容**：「男だから」「女だから」など性別による思い込みや決めつけで「もやもや」したことを、五・七・五の形の川柳で募集
- (2) **募集期間**：令和5年9月14日（木）～令和5年10月15日（日）
- (3) **審査方法**：一次審査を経て、優秀作品を決める二次審査と、共感作品を決める一般投票をそれぞれ実施
- ① **一次審査**
県内大学生や「広島県の男女共同参画をすすめる会」等により30作品程度を選考
- ② **二次審査（優秀作品の選考）**
一次審査を通過した作品を対象に、審査員の書面審査及び協議により上位5作品を決定
- 〔審査員〕**
- かみづるひさひこ
・上水流久彦（審査員長）：県立広島大学教授、地域基盤研究機構長。広島県男女共同参画審議会委員、専門は文化人類学
 - いぬやまかみこ
・犬山紙子：イラストエッセイスト、TVコメンテーター。雑誌、Webなどで活躍中。1児の母。
 - なかしまなおき
・中島尚樹：タレント、コメンテーター。妻の井上恵津子とYouTubeチャンネル「中島家チャンネル」配信中。
 - やまだ みゆき
・山田 幸：日本放送作家協会中国・四国支部監事、日本脚本家連盟中国・四国支部監事、広島大学特任助教。専門は民事法学、コミュニケーション
- ③ **一般投票（共感作品の選考）**
一次審査を通過した作品を対象に二次審査とは別に県民の投票により1位の作品を決定
また、投票に協力された方の中から抽選で賞品を贈呈
- (4) **入賞賞品**
- ・最優秀賞 1点（商品券5万円分）
 - ・優秀賞 2点（商品券2万円分）
 - ・審査員賞 2点（商品券1万円分）
 - ・入賞 25点（商品券2千円分）
- (5) **結果発表・授賞式**
- ・日時：12月5日（火）（予定）
 - ・会場：エソール広島 研修室（広島市中区大手町1-2-1 おりづるタワー10階）

※ 詳細については、特設サイト(<https://www.gendersenryu.jp>)で順次公開します。

【参考】

1 ジェンダーギャップ指数 - 日本

- 世界各国の男女格差を数値化したジェンダー・ギャップ指数（世界経済フォーラム）の2023年の日本の総合順位は、146か国中125位で過去最低。
- 日本は「教育」と「健康」の値は世界トップクラスだが、「政治」「経済」の値が低い。

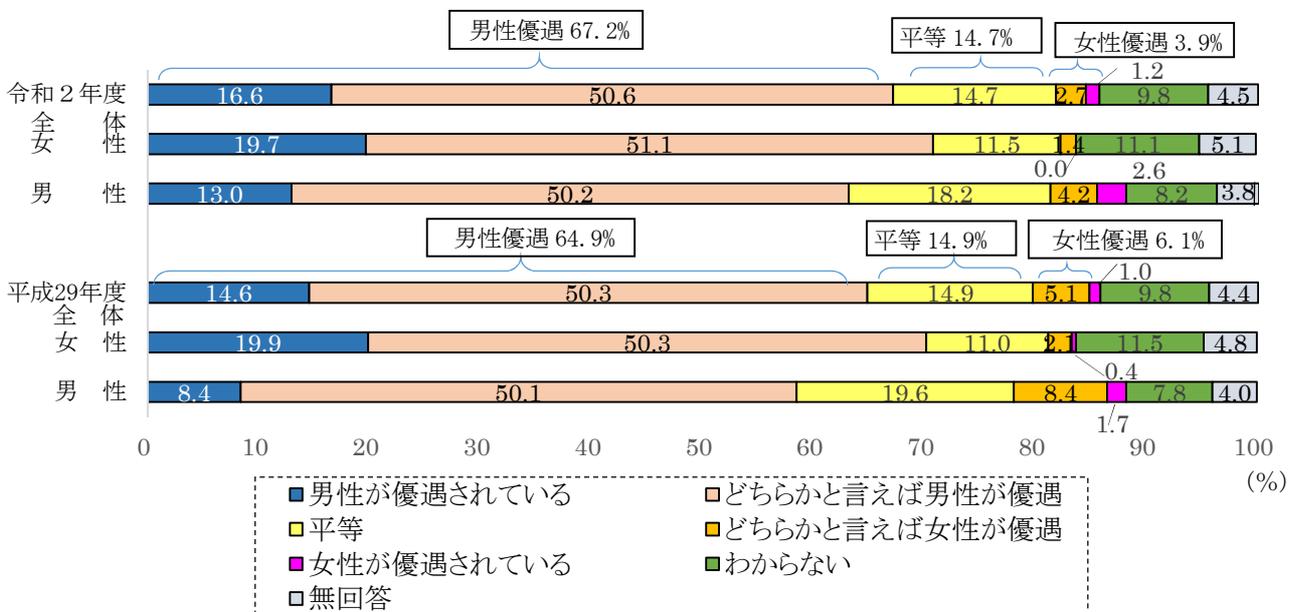
2 都道府県版ジェンダーギャップ指数 - 広島県

「都道府県版ジェンダーギャップ指数」では、教育分野は全国7位と全国トップクラスだが、経済分野は全国23位、政治分野は22位、行政分野は20位である。

(※上智大学教授などの「地域からジェンダー平等研究会」が試算したデータ。政治、経済、教育、行政の4分野で示す。)

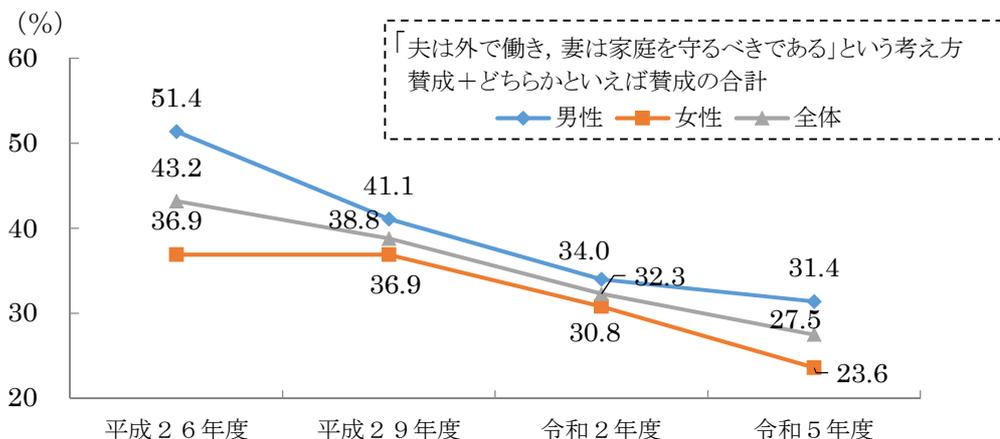
3 男女の地位の平等感

社会全体における男女の地位の平等感について、「平等」と回答した人は全体で14.7%（令和2年度）と低い状況にあり、男女間でも差があるほか、7割弱の人が男性の方が優遇されていると考えている。平成29年度と比べても傾向に大きな差はない。（※広島県「広島県政世論調査」）



4 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方への意見

「賛成」「どちらかという賛成」と答えた人の合計は、全体、女性、男性とも、平成26年度からの約10年で年々減少しているが、依然として全体の1/4が賛成派であり、男女別では男性の3割以上がこうした考え方に対して賛成と答えている。（※令和2年度までは広島県「広島県世論調査」令和5年度は「男女双方の意識改革に係る調査」）



ちいと

もやもや

作品募集

—応募期間—

9月14日(木)~

10月15日(日)

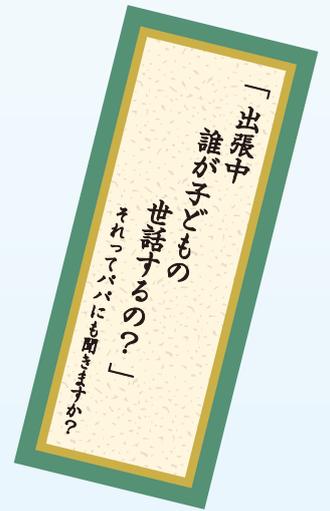
ジェンダー川柳 コンテスト



「男は仕事、女は家庭」「女のくせに」「男のくせに」…。
こんな決めつけ、もう終わりにしませんか？

誰かのこんな態度や言葉で「もやもや」した、あるいは「もやもや」させて
しまったエピソードなどを「五・七・五」で大募集！

あなたが「ちいと」感じた「もやもや」が、多くの人の共感や気づきになって、
世の中を変えていきます。



お題

「男だから」「女だから」など性別による思い込みや
決めつけで「もやもや」したこと

審査員



【審査員長】
上水流 久彦
県立広島大学教授



犬山 紙子
イラストエッセイスト



中島 尚樹
タレント



山田 幸
日本放送作家協会
中国・四国支部 監事

あなたも審査員！
一般投票に参加しよう

11月上旬~中旬
公募サイト上で実施予定

一般投票1位の方に
賞品プレゼント！

さらに

投票した方にも
賞品ゲットのチャンス！

入賞賞品



【最優秀賞】

商品券5万円分 1名



【優秀賞】

商品券2万円分 2名



【審査員賞】

商品券1万円分 2名



【入賞】

デジタルQUOカード2千円分 25名

応募者全員から抽選で

【感謝賞】デジタルQUOカード1千円分 50名

公募サイトはこちら



ちいともやもや ジェンダー川柳コンテスト 募集要項

《お題》 「男だから」「女だから」など性別による思い込みや決めつけで「もやもや」したこと

《募集期間》 2023年9月14日(木)～2023年10月15日(日)

《応募資格》 広島県に在住または通勤・通学の方

《応募上の注意》

- 応募する作品は、自作で未発表の作品に限ります。
- 期間中、おひとりにつき何点でも応募いただけます。ただし、賞・賞品の贈呈はおひとり1点までとします。
- 応募作品の著作権その他の知的財産権は、応募の時点で広島県に帰属し、応募者は、著作者人格権を行使しないものとします。
- 応募者は、応募作品について、ペンネーム(雅号)または氏名とともに、広島県の各種媒体(刊行物、ウェブサイト、キャンペーンなど告知宣伝のためのSNS投稿など)で使用することを承諾するものとします。
- ご応募いただいた作品の変更・修正を行うことはできません。

《審査》 県内大学生や「広島県の男女共同参画をすすめる会」等による一次審査を行います。

その後、審査員による二次審査および一般投票を行います。

《発表》 2023年12月5日(火)(予定)に、エソール広島にて発表および授賞式を行います。

あわせて公募サイトでも発表します。

《応募方法》 ※応募者の個人情報は、当企画以外の用途では使用しません。

公募サイトはこちら!



左の二次元コードから公募サイトへアクセスし、応募フォームをご利用ください。

FAXはこちら!

下記の応募用紙に必要事項をご記入の上、このままFAXしてください。

FAX:082-240-5441(エソール広島)

郵送はこちら!

下記のキリトリ線で切り取り、はがきに貼るなどしてご応募ください。

※ハガキ代(63円)など送料は、応募者様のご負担とさせていただきます。

【宛名面】 はがきの宛名面へお貼りください

【応募面】 はがきの裏面へ横にしてお貼りください



730-0051

ちいともやもや
ジェンダー川柳係
エソール広島
広島市中区大手町一丁目2-1
おりづるタワー10階

※のついた項目は必須事項です。

※川柳作品 (複数記入可)	
※ペンネーム(雅号) または氏名	(ご記入いただいたお名前でご公表します。)
作品についての 説明があれば ご記入ください	
※年齢/性別	歳代 / 性別: 男性 ・ 女性 ・ その他 ・ 答えたくない
※お住まい	県内(市・町) ・ 県外在住(広島県に通勤・通学) ・ その他
※電話番号	-
メールアドレス	@

受賞された方のみ、後日エソール広島よりご連絡します。連絡がとれない場合、受賞は無効となりますので、ご注意ください。